

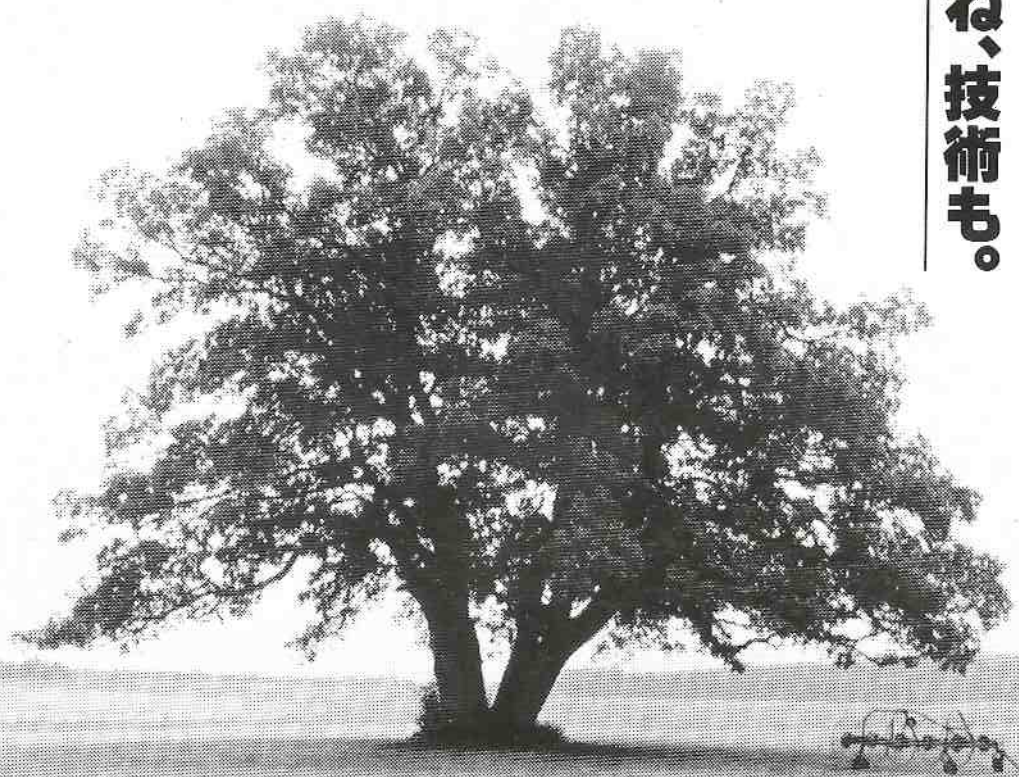


技術にこころをこめて75年

 HITACHI

シンプルがいいね、技術も。

近年、技術はますます高度で複雑になってきました。専門知識を持った人や経験を積んだ人でなくては扱えないような機械もふえています。でも本来機械は、誰もが気軽に使えるものであるべきでしょう。これからの技術には単純明快なわかりやすさが必要なのです。いま日立はインターフェイスという言葉のもとに、人間と技術とのよりよい関係、誰もがかんたんに使いこなせる技術の実現をめざして研究・開発をすすめています。



技術との自由な対話
Interface

第10回アジア大会

日本 第3位に終る

第10回アジア大会は、9月20日から10月5日まで韓国ソウルで開催された。ハンドボール競技は、男子のみ、6カ国の参加によるリーグ戦で争われた。

前回のニューデリー大会で中国に敗れ、銀メダルに甘じた日本チームとしては雪辱の意気に燃え乗り込んだのだが、韓国、中国に敗れ、第3位、銅メダルという結果に終わった。この大会で2年後のソウル・オリンピックの主催国、韓国はもちろん、オリンピック参加のためのライバルとなる中国、クウェートなどの強化ぶりは、われわれの予想を上回るものであった。こうした結果を踏まえて、今、改めて一丸となって日本ハンドボール界の再起に向けて戦うべき事を痛感させられた大会となった。

日本チームの戦いの跡

▼第1戦 (9月23日)

日本 本 38
1820
6 10
16 イラン

G K
F P

本 藤畑山賀村藤村木下田川井
得 0 0 13 1 11 4 2 1 1 1 3 1

38

▼第2戦 (9月24日)

日本 本 33
2112
5 5
10 香港

G K
F P

本 藤内山賀村生藤藤村口下川
得 0 0 6 0 5 2 6 0 3 3 0 8

33

▼第3戦 (9月25日)

韓国 本 38
1820
15 11
26 日本

G K
F P

本 藤畑山賀村藤村木下田川井
得 0 0 8 0 3 5 1 0 1 3 5 0

26

▼第4戦 (9月27日)

中国 本 30
1515
13 14
27 日本

G K
F P

本 藤内山賀村藤村木口下田川
得 0 0 10 0 7 2 0 5 0 0 0 3

27

▼第5戦 (9月28日)

日本 本 23
8 15
10 12
22 クウェート

G K
F P

本 藤内山賀村藤村木口下田川
得 0 0 0 0 4 6 0 5 1 0 3 4

23

	韓国	中国	日本	クウェート	イラン	香港	勝	負	順位
韓国	○	○	○	○	○	○	5	0	1
中国	●	○	○	○	○	○	4	1	2
日本	●	●	○	○	○	○	3	2	3
クウェート	●	●	●	○	○	○	2	3	4
イラン	●	●	●	●	○	○	1	4	5
香港	●	●	●	●	●	○	0	5	6

反省から新たな出発を

監督・野田 清

第9回(デリー)後の

重点強化策

第9回大会では、インド、クウェート、韓国を連破したものの、決勝戦で中国に19-24で敗れ、アジアNo.1の座を他国へ明け渡ししてしまった。これは、決して日本がナショナルチームの強化を怠っていたのではなく、ミュンヘン・オリンピック以後ハンドボールがオリンピックの正式種目になったため、各国がナショナルチームの強化を推進してきた結果である。このような情勢下で、日本チームの強化は、大きく分けて2つのピクアップイベントに向けて行なってきた。その1つは、ロサンゼルス・オリンピック出場を目的としたナショナルチームづくりであり、もう1つは、ソウル・オリンピック出場を目的としたナショナルチームづくりである。今回のアジア競技大会は、ソウル・オリンピック強化対策の中間年度とし、本大会に臨んだ。

以下、ロサンゼルス・オリンピック

ック、アジア競技大会までの重点強化策について述べる。
ロサンゼルス・オリンピックの強化は、新ナショナルチーム編成後半年間でアジア地区予選を突破する必要があるため、短期決戦型のチームにせざるを得なかった。このため、選手を、各ポジションごとに国内の優秀なプレーヤーの中から選抜し、半年間に10回の国内合宿と2回の海外遠征を行ない、以下に述べる5点を中心とした強化策を推進し、ロサンゼルス・オリンピックの出場権を獲得した。

- 〈強化策〉
- 1、スピード・パワー・スタミナのアップ
 - 2、フットワーク力アップによるディフェンスの強化
 - 3、個性あるプレーヤーの育成
 - 4、効率のよい頭脳のプレーの修得
 - 5、相手を上回る旺盛な闘争心の養成
- ロサンゼルス・オリンピック終了後、直ちにソウル・オリンピックのためのナショナルチームを編

成した。年齢25歳以下で、実業団大学生などを中心に候補選手を40名選出し、一九八四年10月に合宿を行ない、ナショナルA、B(各20名)を編成し、アジア競技大会までの期間、月1回6日間の合宿と欧州遠征2回、アメリカ遠征1回を行ない、以下に述べる5点を中心とした強化策を推進してきた。

- 〈強化策〉
- 1、基礎運動能力(筋力、瞬発力、敏しょう性など)のアップ
 - 2、強靱な精神力の養成とナショナルプレーヤーとしての自覚
 - 3、日本としての特徴(スピード、テクニク、理論)を生かしたチームづくり
 - 4、数種のオフセンス、ディフェンスの基本パターンのマスター
 - 5、個性的(シューター、ディフェンサーなど)なプレーヤーの育成
- しかし、一九八五年6月から一九八六年3月までの10カ月間、元オリンピック選手の不祥事件により、監督と選手8名がナショナルチームを辞退したため、合宿など

選手選考の経緯と

大会対策

一九八二年、ニュージーランド大会後は、ロサンゼルス・オリンピックを目標とし、メンバーは、モスクワ大会出場資格選手を軸とし、個性プレーヤーと若手選手を加えて、ナショナルチームを編成した。「アジア予選を勝ち抜いてロサンゼルス・オリンピックに出場する」ことを強化の目標とし、国内合宿および一九八三年9月欧州遠征(西独、ユーゴスラビア)を経て、第3回アジア選手権大会に臨んだが、決勝戦で韓国に敗れ、2位に終わった。この敗戦原因を徹底究明し、韓国対策をねりあげ、本大会に向けてトレーニングを積み、見事ロサンゼルスアジア地区予選を突破し、出場権を獲得した。

ロサンゼルス・オリンピック終了後、新たにオリンピック出場経験者5名を含んだソウル・オリンピック候補のナショナルチームを編成し、諸強化策を推進した。途中、ロサンゼルス・オリンピック出場者の不祥事件により1名脱落した。この穴埋めをするため2名のロサンゼルス・オリンピック出場者を再エントリーし、万全の体制を組み、アジア競技大会のための強化策を推進したが、一九八五年11月、第11回世界選手権東アジア地区予選で韓国に敗れ、代表権を、世界選手権大会参加以来初めて失った。

現地でのコンディ

ショニング

ソウル市は、アジア競技大会直前合宿地であった北海道の北見市と気候がよく似ていたため、天候などの要因で選手がコンディションを崩すような状況ではなかった。宿泊施設についても、3LDKに8人泊るようになっており、生活空間も十分にあり、選手間のコミュニケーションも図られ、スポーツ選手が生活するには申しぶんのない施設であった。

チーム全体のコンディショニングをみると、7月中旬から1カ月間ユーゴスラビアに遠征をし、ユーゴハンドボールをたくさん吸収

してきたのであるが、帰国後、国内大会のスケジュールの関係上、再確認のためのトレーニング時間を十分に取れなかった。ソウルで最終の調整トレーニングをしてチームを仕上げようとしたが、与えられたトレーニング時間は1日1時間30分のため、十分なコンビネーショントレーニングができなかった。このため、試合が開始されて以降は、「ゲーム→チェック→フォロートレーニング」のパターンで日々を過ごしたため、選手も精神的な余裕を十分につくことができなかった。また、試合会場まで、バスで1時間を要するともな、体育館の出入りに関し、厳しい警備によるチェックがあったため、チーム全体のゲーム前のムードを盛り上げるのに苦労した。日本チームとしては、常にベストな状態で試合に臨めるよう努力した。

試合経過と戦評

試合は、最終エントリリー国が6カ国になったため、各国総当りのリーグ戦方式により行なわれた。日本チームとしては、ニューデリー大会で奪われた「アジアNo.1の座」を挽回するため、金メダルを獲得しソウル・オリンピックへつなごうと、合言葉に、チーム一丸となって各国チームと以下のとおり対戦した。

▼第1戦（9月23日）

日 本 38 (1820 | 10) 16 イラン

初戦のイラン戦は、日本チームとして初めての対戦国でもあり、このイランを激破することが日本チームにとって、本大会で好リズムへつなげるための重要な一戦であるので、チームの総力をあげて闘った。また、順位決定方式が、勝ち点同率の場合は、総得点と総失点との差によって決める方式なので、1点でも多く得失点差を開くように攻守で頑張ることをミートイニングで確認した。

試合開始後は、日本チームの堅さが目立ち、攻守に精彩を欠き、6分間を過ぎても4対4の同点であった。時間の経過とともに堅さがほぐれ、防衛でのフォロートイフェンスがよくなり、守って速攻に結びつけるというパターンで、前半を20対10で終了した。後半に入っても、日本チームは堅い守りでイランの攻撃を防ぎ、着実に得点差を広げていった。特に後半の残り10分間は、イランの攻撃を無得点に抑え、18対6の大差で勝ち、第1戦を飾った。

▼第2戦（9月24日）

日 本 33 (2112 | 5) 10 ホンコン

6カ国中チーム力が一番劣るホンコンチームだけに、同率になった場合に備え、1点でも多く得失

点差を貯金すべきゲームであったにもかかわらず、日本チームは大観衆のホンコン応援に煽られたのか、立ち上がりから沈着冷静なプレーがみられず、イージーなシュートミスを取り返し、ホンコンチームを勢いづかせ、結局前半は12-5の7点差で終了した。ハーフタイム後は冷静さを取り戻し、攻守ともにリズムがとれ、ホンコンを全く寄せつけず、21-5で大勝をした。しかし、このゲームで35点以上の得失点差が取れなかったことは痛かった。

▼第3戦（9月25日）

日 本 26 (1511 | 1820) 38 韓国

アジア大会の金メダルを獲得するためには絶対に負けられぬ一戦であり、チーム全員が必ず勝つのだという強い信念のもとにこの一戦に挑んだ。

試合は、韓国ボールでスタートしたが、すぐに1点奪われるとともに、10分間で韓国のポイントゲッターに5連続ゴールされディフェンスのリズムを狂わされたが、攻撃でよく頑張り、12分には6-8と互角の闘いをした。しかしながら、ディフェンスの立ち直りと攻撃での得点率が悪くなったことにより、前半11対20と思わぬ大差をつけられてしまった。後半の立ち上がりは、ディフェンスの動きもよく、2点連続得点

をあげ、さあ反撃という時に攻守でイージーなミスが続けてしまい、自らリズムを崩し、後半も15-18で敗れ、金メダルは夢と消え去った。

このゲームでは、特に韓国チームの勝利に対するすさまじいまでの闘争心とよく洗練された攻守が目立ち、それに比べ、日本チームのひ弱な精神力と攻守での未熟な技術力が目についてしまった。持てる力を十分に発揮できないまま敗れたことが残念でたまらない。

▼第4戦（9月27日）

日 本 27 (1314 | 1515) 30 中国

この試合は、アジア競技大会での自力による銀メダルの獲得と、一九八七年十一月までに行なわれるソウル・オリンピックアジア地区予選の前哨戦ともなり、重要な意味をもつ一戦であるため、日本チームとしては背水の陣でこの闘いにかけた。

この試合では、今までの試合とは若干布陣を変え、高村をDF専門とし、攻撃にリードマンの田口を起用した。また、DFの要である志賀と立木を変え、速い攻撃力に重点をおいた。立ち上がり、日本チームの堅さがあると、中国に攻められ、3連続ゴールを許したが、首藤のロングシュートが決まった段階でチーム全体が守りのリズムをつかみ、1点差を争う

日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)



タチカラニムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。

TACHIKARA タチカラ株式会社

ゲームとなった。日本のフォロ
ディフェンスが中国の攻めをよく
防ぎ、中国がストリーングをする
程であったが、日本の攻撃が貧攻
のため、どうしてもリードが奪え
なかった。ノータイム時に同点の
ペナルティーをはずし、前半を14
対15で終った。

後半に入り何度も同点のケース
があったが、どうしてもリードが
奪えず、遂に首藤が2分間退場時
に3点取られ、これが最後まで尾
を引き、結局27対30で敗れ、自
己の銀メダルを逸した。この試合
のリズムは終始日本が握りながら
貧攻によりこのゲームを落として
しまった。

▼第5戦(9月28日)

日 本 23 (15 | 10 | 12) 22クウェート

クウェートは、一九八六年3月
から、ユーゴナショナルチーム監
督ジブコビッチをコーチに招聘し
チームの強化を図っており、本大
会でも韓国、中国に僅少差で敗れ
ており、かなりの実力をつけてい
た。日本チームとしては、クウェ
ートには得失点差で負けているだ
けに、この試合に勝たなければ銅
メダルは取れないという厳しい状
況下で試合に臨んだ。

試合の布陣は中国戦と同じにし
たが、GKは矢内を先発させた。
立ち上がりからクウェートの攻撃
をよく防ぎ、14分には8対4と4

点リードしたが、5点差にするチ
ャンスが何度もありながら最後の
シュートが決まらず、前半でクウ
エートを突き放すことができなか
った。また、ノータイムのペナル
ティースローもはずし、前半15対
12で終った。

後半に入ると日本チームの攻め
が急に消極的になり、14分間ノー
ゴールであった。逆にこの間クウ
エートに5点取られ、2点のリー
ドを許してしまった。その後、首
藤、市川、奥田が得点をあげ、再
度逆転をし、かろうじて勝利をも
のにし、銅メダルを獲得した。

競技の総評と反省

本大会の目標は、「アジアNo1
の座」の挽回と金メダルの獲得で
あったが、韓国、中国に敗れ銅メ
ダルに終ってしまった。

優勝した韓国は、開催国だけあ
って、長期間の合宿を行ない洗練
された攻守の技術、技能を習得し
ていた。また、本年の世界選手権
でルーマニア、チェコなど、世界
の強豪国と互角以上の闘いをした
のも大きな自信となっていた。さ
らに、ほう賞金制度を導入するな
どをし、プレーヤーの士気を高め
たことも勝利への大きな原動力に
なっていたと考えられる。

中国は、西独にハンドボールを
学び、クウェートはユーゴスラビ
アにハンドボールを学び、ともに

自国チームの強化を強力に推進し
ており、全く予断を許さない状況
であった。

日本チームとしても、世界に目
を向ける前にまずアジア諸国に目
を向け、これらの国に対する諸施
策を推進しなければ、永久に「ア
ジアNo1の座」は取り戻せないこ
とになると思われる。日本がアジ
アのチャンピオンチームになるた
めに、もう1度原点に戻り、ジュ
ニアからナショナルチームまでの
強化策を総見直しする時期に来た
と思う。今からでも決して遅くは
ない。

以下に本大会での反省事項を列
記し、これからの日本チームの強
化策推進のための基礎としたい。

(1) 精神面での反省事項

① ナショナルプレーヤーとして
の強靱な精神力の不足。(闘争心、
集中力、執着心など)

② 国際試合の経験が少ないため、
1点を争う試合に弱い。

③ 全般的に勝負根性が弱い。

(2) 技術面での反省事項

① スピードハンドボールの追求
不足。

② リードオフマンの不足。

③ ディフェンス力の向上に対し、
オフフェンス力の伸びが低く、安定
感がない。

④ そのつけない頭脳的なオフフェ
ン스가できない。

ア、アシストプレーの不足
(特にフローターの役割遂行不
足)。

イ、速攻での展開力に対する
技能不足。

ウ、相手ディフェンスとのか
けひき間合いの取り方が十分で
ない。

エ、2、3人でのコンビネー
ションプレーによる得点力不足。

⑤ 頭脳的なディフェンス能力の
不足。

ア、相手プレーヤーとの適切
な間合いやかけひきなどの能力
不足。

イ、フットワーク力の不足。
ウ、相手の攻撃リズムを崩す
ためのディフェンス力(先読み、
ファールの取り方など)が十分
でない。

エ、サイドディフェンスが弱
い。

⑥ 個性的なプレーヤーの不足。
ア、ガッツあるプレーヤーが
少ない。

イ、プロディフェンサーの不
足。
ウ、安定した得点力のあるフ
ローターの不足。

(3) 体力面での反省事項

① 試合スタミナの不足(体力、
集中力、精神力など)。

② スピードの不足(走力、瞬発
力など)。

③ 上半身の筋力不足。

(4) その他の反省事項
① スピードハンドボールと頭脳
的な攻守を目ざしたが、十分に仕
上げることができなかった。

② ユーゴスラビアで学んだオフ
フェンス、ディフェンスパターンが、
トレーニング期間の不足により十
分に活用できなかった。

③ 国内の大会スケジュールとの
関係により、本大会に合わせた効
果的な練習計画が推進できなかつ
た。

④ アジア地区のレフレッシングに
慣れていなかった。

⑤ 特別な事由により一部のナシ
ョナルプレーヤーが10カ月間、合
宿遠征などに参加できなかったた
め、十分な強化を推進できなかつ
た。

以上のとおり、目標が未達にな
ってしまったと多くの反省事項があ
げられるが、最終責任は、監督と
して総合的な指導力が欠けていた
ものと強く反省している。今後は、
これらの反省事項を踏まえて、コ
ーチ、選手の協力を得て、ソウ
ル・オリンピックの出場権を獲得
するために最大限の努力を傾注す
ることをお約束し、アジア競技大
会までご指導ご協力いただいた日
本体育協会、および日本ハンドボ
ール協会の関係者の皆様方に感謝
を申し上げ、報告としたい。

選手たちの感想文から

アジア競技大会に参加して

井藤英忠

今回の第10回アジア競技大会へ、日本代表選手団の一員として参加できたことを光栄に思います。私自身としては、第9回のインド大会に続き2度目の参加となりました。インド大会では中国に敗れ第2位の銀メダルという成績でした。今回は雪辱に燃え、金メダルを目指し今大会へ望みました。結果は、韓国、中国に敗れ、第3位でした。3位といっても、3位決定戦のクウェートにも、1点差勝利という僅差で、実力はほとんど同じだと思います。

以上はハンドボール競技についてですが、我々日本選手団は、金メダル数で、前回の大会で中国で抜かれ、今大会で首位奪回を目標に頑張ってきましたが、中国、韓国、2国の争いに終り、日本は3位で全く取り残された形でした。中国の実力はかなり知っていたのですが、韓国の勢いは想像以上のものでした。国全体の盛り上がり、一体感、応援では、選手はいやでも燃えあがると思います。8年後に、日本の広島でアジア大会が開催されますが、今回の韓国程、国民全体が関心を持ち、応援してくれるのか？と思うと不安が残ります。

ます。

選手村の生活は大変に良かったと思います。特に食生活の面では、どうしても前回のインド大会と比較してしましますが、大変おいしく日本人の口に合っていたようです。選手の部屋も広く、過しやすかったです。全体的には、ロス・オリンピックに大変似たシステムで運営されていたようです。

民族衣装を着た韓国女性の姿がとても印象に残っています。韓国にとつて、今回のアジア大会は大成功であったとともに、ソウル・オリンピックに向け、運営面、競技面においても大きな自信となつたに違いありません。ソウル・オリンピックでは、韓国国民の期待は今回以上で、盛り上がりもすさまじいと思われまふ。それに対応すべく、早く対策を立て、もう一度ソウル・オリンピックを目指し、頑張らなければなりません。

韓国の国情

藤井 泉

27ヶ国から史上最多の約4千8百人、この内日本選手団50人が参加した第10回アジア競技大会は、9月20日に開催され10月5日夜、ソウルの五輪スタジアムで閉会式を行ない16日間にわたった大会の

幕を閉じた。

韓国が一九八八年ソウル五輪のリハーサルとして総力を挙げて取り組みしたとされるこの大会は、整備された施設、円滑な運営にその意気込みが表われていたように思われた。しかし一方では、不安定な朝鮮半島の情勢を反映するよう、開幕6日前、金浦空港爆弾テロ事件が発生しこのアジア大会は、厳戒態勢下のスタートを切つたわけである。

その中で北朝鮮、ベトナムなどがボイコット、イランの選手が亡命を求めたといわれる事件も起きて政治的問題が、オリンピック同様にスポーツの世界に影響を与えたことは、私個人だけでなくスポーツを愛する人たちにとつても悲しい出来事だと思う。しかし、大会期間中何事もなく無事に終了したことは、とても喜ばしいことであつたと思う。

対イラン戦について

宮下 和広

9月23日やつと初戦のイラン戦の日がやってきた。サブ体育館でのアップを終えメイン会場に入って人の多さにビックリ。約5千人だったそう。いよいよ試合開始。やはり初戦ということと場内の雰囲気にな

れたのか足が地についていない感じだった。守りの時、自分では前につめていて思っても外から見たら足は動いていないし、前にもつめていなかつたようだ。そしてイランのレベルも低かつたので攻めらしい攻めをしてこない訳の分からないシュートを打たれ、それが決つてしまふというのも1回当たつてデットしきれず、そこで見てしまふ、そこからDFにからんで打たれるとキーパーも反応できなかつたそう。DFがそんな状態だから、速攻も出ないし遅攻になつてもなかなかリズムが取れなかつた。私はDF中心にやつていたので、とにかくコートに立つたときは声を出してDFでリズムを取ればと思ひ必死だった。

前半15分過ぎぐらからやつとDFで何とか頑張れるようになり、OFもリズムがよくなり、日本のペースで試合をすることができ、後半もOF、DF共にうまくかみ合いこのゲームを勝つことができた。

試合前にもスタッフの方からスタート10分は積極的といわれていたのにできないとは情けないことである。OFの場合、確実にいこうという意識が強すぎるのか前を攻めずにパスをしてしまうので攻めにならない。DFは前に出てデットするという約束なのにそれもできない。

とにかく、私もこんな大きな大

会あれだけの観衆の中でプレーをするのが初めてなので、今考えれば平常心でできなかったのかと思う。この大会に参加させて頂きたい勉強になったと思います。これからは同じミスをしたくないように精進していきたいと思ひます。

対香港戦について

内藤 浩樹

第1戦目を勝利で飾り、勢い付いて臨んだ第2戦目は、香港との対戦である。体格、技術、(戦術)などともに上回る全日本チームは、誰もが出だしから日本が優勢に試合運びができるだろうと予想していた。しかし、先取点を香港に許し、さらに前半7分に日本が1点目をあげるまで、イージーミス、及びシュートを6本のミスが出足を鈍らせた。以前から、出だしの悪さが課題の一つであつただけに残念である。

前半12分に3-3となつてから日本はディフェンスで踏ん張り、前半の残り18分間を2失点だけに抑え、逆に速攻、ロングシュートを混じえ12-5とリード、日本のペースで前半を折り返した。

後半、高い位置からのシュート(ロングシュート)力に欠ける香港は、どうしても個々のドリブル、フェイントから淡白なプレーになり、終始攻めのまですが目立つた。この香港から守りでミスを誘い、速攻に結びつけ得点を重ねた。

一方香港も、サイド、ポストなど得点を重ねるが、依然ミスが多く、そのミスがすべて得点に結びつけられてしまい、点差は広がる一方であった。結局後半21-5とし、最終的に33-10とワンサイドの試合となった。

日本はこの試合、勝ちましたものの、内容的に出だしの悪さ、ミスの多さが反省点としてあげられるであろう。

選手村の生活

立木 浩二

自己のベストコンディションを作りあげ、選手との友好を深め、また、緊張し高まった心身を休める所、それが選手村である。

爆発事件もあつたため、金浦空港からは、より一層厳重な警備体制が施かれ、すべて白バイ、パトカーの護衛付きバスで移動した。選手村に入るのにも4つほどの検問ゲートを潜らなければならず、重々しい雰囲気であった。また、首にはADカード(身分証明書)を常時かけておかなければならぬ。

生活していく上で大切な「住」宿舎は、18階建の新築マンションで、アジア大会終了後は、1戸2千万円で入居者が決定しているそうだ。4LDKで1戸8人ずつ、我々ハンドボールは、2戸に分かれて入った。各棟の入口には、1-2名の警備員もしくは棟責任者

が配置され、宿舎の安全を約束してくれた。また、ルームサービスも担当の女の人が毎日行なわれて不自由な点はなかった。

これも大変大事である。「食」。食堂は常時オープンしていて、すべてセルフサービス・バイキング方式、種類も豊富で味もなかなかのもので、ついつい食べ過ぎてしまう毎日であった。特に日本そば、みそ汁などが出た時はやはりうれしく、その日の試合が絶好調のよう

な気さえした。その他の施設としては、ショッピングセンター。ここにはソウル・オリンピックのマスコット「ホドリ君」のキャラクター商品ははじめ各種の土産が用意されていて一部免税店も加入していた。電話局、郵便局、床屋、銀行、クリーニング店、デイスコ、などなど、アルコール類を扱っていないだけで何でも揃っていた。

選手村では当然アジア各国の選手、ライバルと顔を合わすことになるが、村内においては国が違っても、そんな意識はあまりない。デイスコへ行って、クウエートの柔道の選手と片言の英語に身振り手振りを加え、必死で話したり、また、少し覚えた韓国語でコンパニオンと話したり、このような友好、息抜きも多少は必要だと思

た。選手村から出る事は許されてはいたが、試合、練習を除けば、スポーツメーカーへのショッピング

ぐらいで、村内で十分な生活は送れた。私は選手村という環境に入ったのは初めてだが、非常に気分よく生活する事ができた。

これだけすべての物が揃い、各国からの何千という滞在者がいる所は、もはや「村」ではなく「選手村」と呼ぶべきだろう。

対韓国戦について

西山 清

対韓国戦、冷静な目で見て心・技・体共に完敗だったと思います。この韓国チームの強さは、なんと

言ってもおのおののすばらしい個人技が中心に成り立っています。今までの韓国チームは、すばらしい個人技はもっていましたが、それイコールチーム力にはなっていない

なかつたように思えました。しかし、この大会に関しては、元来の個人技がうまくチーム力となつて生かされていたように見えました。それに、韓国のハンドボールの考え方は、短所をけざるよりも、長所を伸ばす考え方が日本よりも

強いように思えます。その考えが、あの抜群の攻撃力につながっているように思えます。とにかく、ハンドボールをやっている韓国チームは、おのおのが生きていますし、自信に満ちていました。多くのハンドボール関係者は、韓国のハンドボールは一種のマシーンだと言うけど、私にはそうは見えません。一つ一つのプレーにちゃんと感情

が入っていたし、なんと言っても、あんな生き生きとしたハンドボールチームを今までに見たことがありません。たぶん、私たちにわからない考えというか、哲学がそこにあるのではないかと、私自身には感じられました。

私はこの一戦を終えて、韓国チームの強さもさる事ながら、それを引き出しているハンドボール理論についても大変興味をもった一戦でした。

ヨーロッパとアジアのハンドボールの違いについて

玉村 健次

近代のハンドボールは、世界各国でも大型化が進んでいますが、その中でもヨーロッパの国々は、各ポジションのスペシャリストの養成に力を入れていると思われ

ます。アジアのハンドボールも、スペシャリストの養成に力を入れてきていますが、ヨーロッパの国々の選手層の厚さには、まだまだ及んでいないと思います。

日本の場合でも、現在問題になる事は、選手層が薄く、新しいポジションなどで試合をするケースが多いという事です。選手の選び方でも、ヨーロッパは、そのポジションに適している選手を見つけたし、それから育成していきますが、日本の場合には、良い選手を選んでからどこかのポジションを育成しているの、これにも問題が

実績と信頼の公式試合球

イリマボール



ALL OVER THE WORLD

IRUMA

ハンドボール



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

入間川ゴム株式会社

東京・埼玉・大阪・名古屋

あると思います。

ヨーロッパ、特にハンドボールを国技的に行なっている国々では、子供の頃からハンドボールを行ない、子供の頃から代表選手を夢見ている練習が止まりません。やはりアジアの国々もこれからヨーロッパの国々に勝とうとするならば、組織だった中にも、スペシャリストを育成し、ヨーロッパにないハンドボールを行なっていくかなければならないと思います。

対中国戦について 高村 誠一

韓国に負けてしまった全日本だったが、まだ金メダルの可能性が無くなっただけではなく、加えて来年行なわれるであろうオリンピック予選につながるために、是非ともこの中国戦に勝っておかなければならなかった。

日本は最初、フォーメーション、二人のコンビなどを使い果敢に攻めるが、中国GKの好守によって最終のシュートが決まらず、逆にそのボールを拾われて、速攻にもち込まれ前半3分で3点のリードを許す。前半4分、ようやくここで日本は、フォーメーションから首藤が右下に打ち込み1-3とする。その後互いの攻防が続き、10分過ぎたところで中国8番が退場したスキに、立木がポストから飛び込み4-5とつめ寄る。おまけに11番の退場を誘い中国が4人に

なったところで5-5と追いつく。

その後、日本は追いついては離され、追いついては離されをくり返す。前半を14-15で折り返した。後半に入り、玉村がペナルティを決め、試合をふりだしにもどしたが、なかなかリードする事ができない。その後も一進一退をくり返したが、中国が変形1-5DFをすればはじめてから、日本はボールが回らなくなり、2-3の点差はなかなか縮まらない。後半に入ってから日本のDFにも退場者が続き、追い上げムードに水をさした。

アジアのハンドボール 田口 隆

今回、第10回アジア競技大会に参加し、肌で感じたアジアのハンドボールをここに述べてみます。

まず最初にとても印象的だったのは、上位チームのうち日本を除く、韓国、中国、クウェートの3チームはディフェンスにおいて1-2-3ディフェンスを主として前へ前へと出てくる形をとり、マイボールになると素早く速攻につながるという具合でした。

また、韓国は体は決して大きくはないが、とても良いバネを持っている。パスを一つ、二つとつなぐうちにシュートまでいくというように、積極的な攻撃がとても印象的でありました。全体にディフェンスを一生懸命するというより、

攻撃力で相手を負かすといった具合に、全試合において高得点をとる試合が目につきました。アジアのハンドボールも世界レベルにどんどん近づいているのが感じられました。

対クウェート戦について 矢内 浩

クウェート戦は、結果的に3位決定戦になった訳ですが、今の全日本チームの現状ではクウェートといっても侮れない相手である。試合前から思っていました。対韓国戦の後半は、特に実力以上の力を発揮し、韓国を最後まで苦しめたからです。

試合については、日本が先行し前半10分で7対3でリード、相山DF3-2-1をうまく攻め、DFの前に詰めるためポスト攻撃を多くして得点を重ねた。相手もポスト攻撃を警戒してか、前半15分ぐらいから0-6DFに切り替え、ポストを重点的に守るようになり、日本の攻撃もロング、ミドルに切り替えたが、相手GKに阻止され思うように点が取れなくなった。

相手No6のセンターの選手の強引なカットインからのシュート、ポストシュート、PTととられ、少差につめられる展開になった。しかし、日本も対中国戦からDFが良くなったため、踏ん張ることができ、前半15対12の3点差で

終了しました。

ハーフタイムのミーティングでは、この試合に絶対勝って銅メダルでも日本に持って帰りたいという気持ちが高まり、自分たちでやらなければならないと意気込んで後半に臨みました。しかし、自分たちの気持ちとは裏腹に、相手GKにシュートを取られ、14分まで得点をあげることができず逆に2連続得点され、15対17と2点リードされてしまいました。日本がいつも後半リズムが悪くなり、自分たちの実力を出しきれなくなるのはなぜかと自分なりに考えると、「誰かがやってくれるだろう」という気持ちが出て、自然に足が止って、攻撃のリズムがとれなくなってしまうのではないかと思います。韓国などは逆に、「自分が」「自分が」と積極的になっていきます。日本は慎重になりすぎてしまい、慎重になればなるほど、相手DFの「思うツボ」にはまって、自分たちのミス引き起こす原因を作って、結果的に、自分たちの手で自分たちの首を絞めることになってしまふ。これらの精神的な弱点を今後修正することが必要であると思います。

試合の方は、最後の最後まで自分たちのペースを掴むことができず、苦しい試合をしてしまいました。結果は、23対22で勝つことができましたが、今後にも多くの問題を残した大会であったと思います。



創業68年

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光
本社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39
電話 東京 (03) 451-4161(代)

第41回国民体育大会



甲斐路に熱戦を展開

第41回国民大会ハンドボール競技は、10月13日より17日までの5日間、山梨県塩山市で開催された。今大会、成年の部で波乱がつづき、男子は埼玉(大崎電気)が広島(湧永製薬)を破り、女子は有力と思われた熊本(立石電機山鹿)

成年男子

埼玉(大崎電気)が優勝

と埼玉(大崎電気)が共に準々決勝で敗退、三重(ジャスコ)が茨城(日本ビクター)を破って優勝を飾った。少年の方は、男子が福岡(久工大付)、女子が石川(小松市女と有力チームが順当勝ちを収めた。

▼1回戦
愛知 33 (1815-136) 19 岩手
(大同特殊鋼) (花巻クラウン)

○：前半15分まで同じようなプレーが続き五分五分であったが、その後愛知はシュートを確実に入れ、点差を広げた。後半、岩手は弱気のプレーが目立ち、20分までそのプレーが続いた。(菅野)

得点001510001803
手田藤川島川田沢口田藤啓賢
岩鎌佐谷中及森大山吉谷藤藤原

GK F P (審・水・越) (浦添ク)
東 京 33 (1914-1314) 27 沖 縄
(三景)

○：前半途中までは一進一退の展開であったが、15分過ぎから東京がロングやカットインでリズムをつかみ12-8とリードを広げた。

しかし、前半終了5分前からミスが目立ち始め、粘る沖縄がこれを速攻に結びつけて追いつき、14-14で前半を終る。後半開始直後、沖縄が2点リードしたが、善戦もここまで。ロングとポストがかみ合い出した東京に突き放された。(上小沢)

得点00602611100074
繩泰城島田志間城原間里場良
沖垣新垣新内宮上城新嘉高舎

GK F P (審・菅・野) (函館有之)
愛媛 31 (1516-9) 14 北海道
(選抜)

○：開始から愛媛は速い攻撃と固い守りで8-0とリードを広げ、愛媛ペースで展開されたが、後半北海道も気迫のあるプレーをし試合を盛り上げた。(半田)

得点00001910101110
村田藤口浦田嵐水橋木桑
北海道
(北野奥岡佐山三兼近清高鈴高)

▼準々決勝
広島 26 (1313-147) 21 愛知
(湧永製薬)

○：開始から着々と加点する広島に対し、愛知は相手GKの好守にあいなかなか得点をあげられず、広島がリード。後半、コンビのとれ出した愛知が徐々に追い上げ好ゲームになったが広島は快勝。広島には退場者が続出し、トップチームのプレイングの激しさが際立ったゲームであった。(北井)

得点0000242154112
知村吉中藤村野川本取生浜田江
愛上秋田内高小市中名蒲横海

GK F P (審・菅・野) (全長野)
山梨 38 (2117-1310) 23 長野
(日川ク)

○：山梨ペースのゲーム展開で前半より朝生、古尾が着実に得点しリードを広げていった。長野もよく反撃するも山梨GKの好守に

阻まれた。山梨は終始足が動いており、スピーディなゲームで勝利を手にした。(代水)

得0003724112221
島桐内亮島田山辺村和下沼

〔長野〕 中片竹塩矢行小渡中塩岩菅

〔山梨〕 功 寛 屋 藤 沢 裕 島 生 久 川
山 菊 武 関 古 佐 中 菊 広 朝 武 窪

東 京 33 (1617 | 1310) 23 大 阪

○：前半から東京のロングシュー

トが決まり先行、追いつがる大阪もディフェンスの甘さからなかなか追いつけず、そのまま終了した。(半田)

得00023100002150
〔大阪〕 實 田 本 野 願 西 谷 瀬 橋 本 本 尾

〔大信〕 太 勝 源 成 大 三 厚 高 岩 辻 杉

〔東京〕 村 川 畑 谷 藤 橋 尾 永 村 木 田 司
〔東〕 中 北 田 大 近 高 峰 福 田 鈴 山 郡

得00805000287003
〔大崎電気〕 玉 41 (1823 | 8) 16 愛 媛

ームであった。(北井)

得0022520031001
木田井井福岡藤屋崎谷田子

〔愛媛〕 鈴 鐘 今 土 東 定 佐 萬 塩 辻 川 金

〔玉〕 部 内 岡 田 田 藤 田 下 迫 田 野 野
〔岡〕 矢 松 大 武 首 中 宮 越 菅 大 星

廣 島 23 (1112 | 9) 18 山 梨

○：立ち上がり山梨がセットプ

レーから4点を連取。広島が1分に追いつき一進一退の展開となった。20分過ぎ、広島は走りど速いパス回しから得点を重ね、12|9で前半を終了した。後半両チームスピードと技のぶつかり合いの好ゲームを展開したが、パワーに勝る広島が23|18で決勝に進出した(笠井)

得00233022413000
〔山梨〕 功 寛 口 屋 藤 沢 裕 瀨 生 久 川

〔山菊〕 武 関 古 佐 中 菊 広 朝 武 窪

〔廣島〕 城 藤 原 駒 村 卷 賀 川 田 原 本 田
〔大〕 井 河 生 玉 酒 志 中 内 橋 山 奥

得00364320003111
〔埼〕 玉 38 (2018 | 14) 23 東 京

彩な攻撃で着々加点する。東京もよく走ったが埼玉の固いディフェンスに阻まれ、38|23と大差がついた。(横瀬)

得00407022003005
〔東京〕 村 川 畑 谷 藤 橋 尾 永 村 木 田 司

〔東〕 中 北 田 大 近 高 峰 福 田 鈴 山 郡

〔玉〕 部 内 岡 田 田 藤 田 下 迫 田 野 野
〔岡〕 矢 松 大 武 首 中 宮 越 菅 大 星

東 京 32 (15 | 13 | 14 | 14) 31 山 梨

○：きめ細かなコンビプレの山梨は、一歩も譲らない1点を争う展開を続け、残り10秒山梨が追いつき延長に入る。延長に入るや、東京はセットプレーで得点をあげますが山梨をふり切った。(北井)

得00443075080800
〔山梨〕 功 寛 口 屋 藤 沢 裕 瀨 生 久 川

〔山菊〕 武 関 古 佐 中 菊 広 朝 武 窪

〔埼〕 玉 38 (2018 | 14) 23 東 京

〔東京〕 村 川 畑 谷 藤 橋 尾 永 村 木 田 司
〔東〕 中 北 田 大 近 高 峰 福 田 鈴 山 郡

▼決勝
埼 玉 23 (15 | 8 | 10) 18 廣 島

○：開始より18分までは1点を競う展開となったが、広島は酒巻志賀の得点で2点リードし、その後両チーム共得点したが、広島が2点リードのまま前半を終了した。後半に入ると埼玉ペースで、5分過ぎには越迫の速攻、宮下、首藤のスクイプレーでリードした。一方広島は、得点チャンスがあ

〔玉〕 部 内 岡 田 田 藤 田 下 迫 田 野 野
〔岡〕 矢 松 大 武 首 中 宮 越 菅 大 星

東 京 32 (15 | 13 | 14 | 14) 31 山 梨

▼3位決定戦

〔石川〕 北 川 林 後 嶋 下 田 木 川 崎
〔石〕 川 中 丹 中 松 荒 和 高 北 川

〔兵庫〕 山 谷 本 部 流 上 田 田 坂 井 井
〔兵〕 村 中 坂 畑 渡 上 尾 呉 和 奥 藤 酒

得0002383200000
〔石川〕 北 川 林 後 嶋 下 田 木 川 崎

得00230541104000
〔石〕 川 中 丹 中 松 荒 和 高 北 川

ったが、相手側GKの活躍で得点することができずに終わった。(水越)

得0003531000312
〔廣島〕 城 藤 原 駒 村 卷 賀 川 田 原 本 田

〔廣〕 大 井 河 生 玉 酒 志 中 内 橋 山 奥

〔玉〕 部 内 岡 田 田 藤 田 下 迫 田 野 野
〔岡〕 矢 松 大 武 首 中 宮 越 菅 大 星

東 京 32 (11 | 13 | 10) 16 青 森

負は延長に持ちこされた。タイムアップ直前石川が速攻で得点し、ゲームを終了した。(笠井)

〔千葉〕 千 葉 24 (11 | 13 | 10) 16 青 森

○：立ち上がりから千葉が速攻などで優位に立ち、4|0と好スタートを切ったが、途中ミスが出て青森が追いつげ、13|6で折り返す。後半も千葉が着々と加点、一方的な試合になった。(稲生)

得00406100032000
〔青森〕 藤 保 小 吉 長 山 船 近 中 坂 中 熊

〔千田〕 天 山 高 松 海 桑 小 杉 山 大 石
〔葉〕 中 野 田 橋 川 原 代 林 本 野 森 塚

成年女子 三重(ジヤスコ)が優勝

▼1回戦

石川	19	1	0	9	9
兵庫	18	1	0	0	9

(風見鶏)

○：兵庫GKの好プレーに石川は再三のチャンスを得点に結びつけられず、9|9の同点で前半を終了した。後半に入っても追いつ追われつのゲーム展開となり、勝

得0002383200000
〔兵庫〕 山 谷 本 部 流 上 田 田 坂 井 井
〔兵〕 村 中 坂 畑 渡 上 尾 呉 和 奥 藤 酒

得00230541104000
〔石〕 川 中 丹 中 松 荒 和 高 北 川

得003314000102
鳥野下茂橋沢田見田鳥達角
志
[島] 鈴木木加柳長福都興花仁安江

G K F P (審・山下)

山起田本方垣垣郷栖家内山由
歌田
[和] 原浅山嶋岩高熊栗新竹畑原
得00751100200110

富山 25 (18-7-4) 10 岐 早
(全富山) (腕満会)

○：富山、岐阜両チーム共に雑なプレーが目立ち得点につながらなかった。特に岐阜のラフプレーで警告、退場者が続出、その間に富山が得点を重ね、一方的な試合となった。富山GK椋谷のキーピングが光っていた。(浜野)

得00203003002000
早藤内藤田島木光桐川合村井
岐佐竹安岡小鈴平片桂河申中

G K F P (審・小池)

山谷中 戸山村橋淵内治井
山網
[富] 北樽田 円飯中道谷鍛中
得00935110001500

福島 34 (19-1-9) 18 長野
(ユネカク)

○：立ち上がり長野が原田のカットインで先行。福島も20分過ぎから攻撃がかみ合い、15-9とリードして前半を終了。後半、福島は前半同様速攻で得点をあげるがミスが多く長野を離し切れない。しかし、15分過ぎから足の止まっ

た長野に速攻を重ね、20分過ぎには28-17と勝負を決めた。(宮沢)
得000701360010
津岡沢藤崎川田橋沢田 井
[長野] 駒花古佐山小原丸柳武 今

G K F P (審・横瀬)

藤妻谷藤田林野井知川田藤
島
[福] 遠我藤佐吉小海酒和皆太伊
得0049400400481

茨城 37 (18-1-5) 11 大分
(日本セクター)

○：立ち上がり、茨城は1分間に連続3得点とスムーズな流れに乗った。これに対して、大分は茨城の高さのディフェンスに攻めあぐみ前半を終る。後半も同じような展開で進んだ。大分はどうしても茨城の「高い壁」が破れず涙を飲んだ。(不明)

得004001110112
分川木刈下代下身井田野田
大
[中] 佐竹三木穴白矢紀宮

G K F P (審・宮沢)

城 辺口藤田川條松本田藤井岡
茨渡小武長枝下平根太工松永
得003735065314

滋賀 31 (16-1-7) 13 山形
(滋賀)

○：双方ミスの目立った立ち上がりだったが、試合のペースをつかんだのは、地力に勝る滋賀の方

だった。パスカットからの速攻、カットイン等々、常に自分たちのペースで試合を進めた。一方山形は、得点チャンスを作りながらシュートその他でミスが目立ち。最後まで力を出し切れずに終わった。(斉藤)

G K F P (審・矢澤)

西川井本名河崎谷巳宮田西
[滋] 小北今藤貫西松西辰松島中
得001178221000011

廣島 24 (12-1-4) 9 高知
(広島)

○：同じようなタイプのチームわずかながら広島のリード力と走り勝ち、前半に12-4と広島リードで終了。後半も同じような展開で、両チーム共チャンスは同じぐらいあったが、シュート力に勝る広島が着実に加点して点差を開いた。(横瀬)

得00000102132
知山下越元賀崎上崎家 野
高西松中田伊大井松久 平

G K F P (審・宮沢)

岡木田西 多野岡松田中中
[廣] 永水山本 森 波河藤高中田吉
得001700421630

G K F P (審・平井)

○：熊本は早い攻撃により石川のディフェンスミスを誘い着実に得点を重ねる。一方石川は、熊本の固いディフェンスのためになかなか得点ができず、熊本の一方的ゲーム展開で終る。(平井)

熊本 30 (18-1-3) 10 石川
(立石電機山鹿)

G K F P (審・藤田)

木本口藤口村家嶋内田津山
[熊] 荒岡山近江若福野山横武中
得0033331166034

東京 25 (15-1-4) 10 岡山
(東京重機)

○：動きの早い東京は、市川、古谷を中心によくまとまり、速攻による得点を重ね、終始岡山をリードして試合を終了した。岡山は白石、野瀬の活躍が目立ったが、東京の力量の前に屈した。(小池)

得001110110104
山崎口石塚 川尾田原辺井瀬
岡宮樋白大 宮長原奥渡仲野

G K F P (審・平井)

井角崎川藤田井原谷林田
[東] 石大山市佐嶋藤伊古大矢 星
得0021401110510

G K F P (審・藤田)

○：開始10分、教員チームの千葉が、サイド、ロングシュートで5-4とリード。しかし、日本リーグの意地を見せた鹿兒島は、速攻、ロングシュートなど着実に得点を重ね、26-17で千葉を下した。(佐野)

鹿兒島 27 (12-1-7) 16 千葉
(ニク園)

G K F P (審・小池)

石崎木瀬原本田渡元郷口元
[鹿] 阿斜斜光宮楠久馬野東山藤
得000130202730047

愛知 39 (19-2-5) 9 新潟
(フレーザー工業)

○：愛知の厚いディフェンスに阻まれパスが思うようにつながらない新潟は、再三のパスミスから逆速攻を許し、前半10分過ぎには大差となる。その後も新潟は得点するチャンスをつくることができず

得00020000070000
新堀 落中円坂上坂藤川河清
[愛] 添敷木池水村上田田尾倉保
得0042300558075

G K F P (審・平井)

○：立ち上がり長野が原田のカットインで先行。福島も20分過ぎから攻撃がかみ合い、15-9とリードして前半を終了。後半、福島は前半同様速攻で得点をあげるがミスが多く長野を離し切れない。しかし、15分過ぎから足の止まっ

G K F P (審・平井)

○：立ち上がり長野が原田のカットインで先行。福島も20分過ぎから攻撃がかみ合い、15-9とリードして前半を終了。後半、福島は前半同様速攻で得点をあげるがミスが多く長野を離し切れない。しかし、15分過ぎから足の止まっ

ず、愛知の一方的な試合展開のま
ま終了。(藤田)

京 都 (17-10) 14 神 奈 川
(京都ク) 26 (9-4)

○：速さと高さを生かした京都
は、立ち上がりから着実に得点し
ていった。これに対して神奈川は
セットプレーに苦しみながらも速
いパス回しの攻撃でこれを追った
が、前半17-10と京都リードで終
了した。後半も京都ペースで流れ
26-14でゲームが終了した。(笠
井)

0004522002100
川 中本塚屋口鳥藤田山保川本
山松貝土山野加稲野大太橋
見久刀

G K F P (審・酒田井) PT (1) 14

井本田野田戸田田辺坂尾橋
〔京都〕石山秋矢多山花藤渡谷中小
得0005422080034

福 岡 27 (116-2) 10 福 井
(全福井)

○：前半、福岡はGK上野の好
守と速攻からの得点で福井を寄せ
つけないゲーム展開となった。後

得003020301100
井 中山野賀屋後田本野田山田
〔福岡〕田深高朝門堂前石駒松風藤

G K F P (審・笠井) PT (1) 10

〔福岡〕野方波田川田川島中田木瀬
〔福岡〕上緒川松森森妹宮田山白横
得0056015140014

半に入って少し元氣の出た福
井だったが、福岡は着実に得点を
重ね3回戦に進出した。(浜田)

佐 賀 23 (9-10) 17 宮 城
(14-7) (聖和ク)

○：前半立ち上がり佐賀は速攻
で得点を重ね、セット攻撃(ボス
ト)を中心に展開しようとしたが
宮城GKの好守に阻まれミスが目
立つようになった。一方宮城は、
佐賀のミスから着実に得点を入れ
シーソーゲームとなった。後半、
シーソーゲームの続く中、佐賀は
相手のミスから速攻につなぎ加
点した。(楡井)

得001109050100
城 田山谷谷坂美野鳥藤川卷
〔宮城〕森松加峰早鈴今大佐鈴中葛

G K F P (審・酒田井) PT (2) 17

賀 村田節島美島月 子東山頭
〔佐賀〕中早羽江羽中香 星伊森江
得0047126000300

三 重 36 (18-9) 17 群 馬
(1818-9)

○：前半の20分までは両チーム
の対戦が激しく、両チームとも

得0010200824000
馬 原嵐坂真田山智島瀬川原
〔群馬〕大五石鈴木武横鈴木荒大桐

G K F P (審・笠井) PT (2) 17

〔三重〕村田沢裕藤野部石岡真西田
〔三重〕木小寺石近篤服常高石寺池
得00444728200126

共一進一退のゲーム展開となっ
た。後半に入ると、三重が実業団
のスピードプレーで群馬を寄せつ
けなかった。(浜田)

崎 玉 24 (12-3) 8 長 崎
(大崎電気) 25 (12-5)

○：立ち上がり石井のロングで
先行した埼玉が、GK梅野を中心
とした固い守りから速攻を重ね、
15分過ぎには9-1と主導権を握
った。その後攻守にミスが目立ち
始めた埼玉に対し、長崎も藤山を
中心に攻めこむが今ひとつ決定力
に欠け、12-3で前半を終了。後
半、長崎はチーム全員で積極的
に攻撃するが、ここの一番PTは
すなど埼玉を崩されず、埼玉は
速攻、ロングと攻撃の手をゆるめ
ず、20分過ぎには21-7と勝負を
決めた。(宮沢)

得00001110104001
崎 下崎本辺隈田津永原山井島
〔長崎〕池宮豊渡大中塩松吉藤石貞

G K F P (審・山下野) PT (0) 8

〔埼玉〕西野実尾谷井山湖口永川木
〔埼玉〕大梅時松塩石冲徳江須前鈴
得00200045190003

岩 手 18 (6-1) 13 奈 良
(岩手花) 33 (10-7)

○：立ち上がり奈良が多数のシ
ュートを放ったが、岩手GK梅原
の好守にあい得手にならず、岩手
もこれといった得点源がなく両チ
ーム共苦しい試合となった。後半
奈良・松崎がよく頑張る4連勝得
点、岩手・堀米も頑張る延長戦
に。延長は堀米の得点で岩手が勝
利を握った。(浜野)

得0000120040060
良 谷川岡己本崎崎江田村崎中
〔奈良〕中森杉辰福姉尼藤奥野松菱

G K F P (審・斎藤) PT (0) 13

〔山梨〕山野辺崎道沢山林瀬島田田
〔山梨〕丸星渡嶋海松春小百成武平
得0065645066121

○：地元の登壇とあって大観衆
の集まる中、その観衆に緊張した
のかやや固さの見た山梨だった
が、5分過ぎからは自分たちのベ
ースに進め、17-14で前半を終え
た。後半の立ち上がり、和歌山は

山 梨 36 (19-4) 10 和 歌 山
(シャトレゼ) 19 (17-4)

〔山梨〕藤原田山田米里藤真井浦崎
〔山梨〕齊梅松晴大堀工佐川三柏
得0010480002111

G K F P (審・宮沢) PT (2) 18

〔和歌山〕起田本 垣垣郷栖家内山由
〔和歌山〕原浅山 嶋 岩高熊栗新竹畑原
得007101010000

梨 山 野 辺 崎 道 沢 山 林 瀬 島 田 田
〔山梨〕丸星渡嶋海松春小百成武平
得0065645066121

G K F P (審・山下野) PT (0) 10

滋養強壮剤 薬用人参・牛黄・大蒜製剤

キヨ-レオピン® レオピン® ファイブ

効能・効果

○滋養強壮 ○虚弱体質 ○肉疲労 ○病後の
体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗
性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



キョーリン製薬株式会社

〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号

TEL(458)8301

〒101 東京都千代田区三崎町1丁目3番12号

TEL(293)3351

ポストプレー、カットインなどで先行したが、やはり総合力に勝る山梨の圧勝となった。(斉藤)

富山 21 (1011|8) 17 沖繩 (レキオク)

○：1点を争う混戦ゲームから富山が一步リード。後半、沖繩もインターセプトから反撃に転じたが、ライシククロスなど大事なところでのミスが目立ち、逆に富山の巧いサイド攻撃で逃げ切られた。(山下)

得00440404200201
【砂伊平真山高具下米山島石】

G K F P (審・宮澤)

山 山谷中 戸山村橋測内治井
得004331151010130

大 阪 25 (1510|5) 10 福 島

○：身長差に勝る大阪のディフェンスの壁は、福島のカットインを警戒してのディフェンスは、相手のミ

得00012600100
【遠我藤佐吉小酒和皆太伊】

G K F P (審・内田)

阪 濱口山西瀬木田谷池川村本
得0041442143320

大 高坂丸上赤佐植天小袋上藤
得0041442143320

スを誘った。走りの良い両チームも一つのミスが加点になった。攻撃に変化のある大阪は、前半でダブルスコアと差をつけ、後半に入ってもポストやカットインで点差を離し大勝した。(千野)

茨 城 28 (1414|1) 3 静岡 (静岡城北)

○：実業団対クラブチームの一戦はスポーツ対クと軽自動車と比べるかのごとくスピードの差はど

得00000000010002
【坪明藤川永論本竹月木】

G K F P (審・千塚)

茨 城 28 (1515|4) 8 宮 城

○：走力に勝る滋賀は、開始

得00220040000020
【美木原千衛西川浅崎田木】

G K F P (審・内田)

賀 西川井本名河崎本己宮田田
得008714202222

滋 小北今藤貫西松西辰松島中
得008714202222

早々から速いパスワークと動きの良いコンビプレーで前半15|4とリード。後半も宮崎の単発的シュートを速攻に結びつけ加点し点差を広げた。(手塚)

栃 木 38 (2018|3) 9 広 島 (日立栃木)

○：栃木は速い攻めから着々と加点。一方の広島はポストからのシュートで反撃するも18|6と栃木

得001000100313000
【岡木田西多野岡松田中】

G K F P (審・千塚)

木 生本打田水沢田岸原村苗毛
得006737451131

熊 本 24 (915|6) 15 東 京

○：最初の流れは京都ムードで展開されたが、福岡も徐々に動き

得00115300003210
【井角崎川藤田井原谷林田】

G K F P (審・千塚)

熊 荒岡山近江若福野山横武中
得0031030093041

○：前半、熊本の固いディフェンスに東京が攻め切れず、前半15|6で熊本の一方的な試合になった。後半東京もよく健闘したが、熊本の壁は破れなかった。(浜野)

愛 知 28 (1711|5) 13 鹿 児 島

○：立ち上がり、愛知がセット速攻で着実に得点、一方的な展開

得000002001211034
【石崎木瀬原本田渡元郷口元】

G K F P (審・宮澤)

京 都 25 (328|12) 23 福 岡

○：最初の流れは京都ムードで展開されたが、福岡も徐々に動き

得00115300003210
【井角崎川藤田井原谷林田】

G K F P (審・千塚)

熊 荒岡山近江若福野山横武中
得0031030093041

滋 小北今藤貫西松西辰松島中
得008714202222

得001904132003
【野方波田川田川島中田本瀬】

G K F P (審・市瀬)

都 井本野田戸田田辺坂尾橋
得00040600700044

三 重 28 (1414|1) 8 佐 賀

○：立ち上がりから三重が速攻を展開する。それに対し佐賀はサ

得0033011000000
【村立立立迎子東山頭】

G K F P (審・平井)

重 村田沢裕藤野部石岡真西田
得00212004570007

埼 玉 20 (119|5) 11 岩 手

○：埼玉の先行で始まったが、岩手GKの好守からゲームは盛り

得00212004570007
【木小寺石近鷲服常高石寺池】

G K F P (審・平井)

熊 荒岡山近江若福野山横武中
得0031030093041

得000013141010
藤原山田米里藤真井浦崎
手志藤藤
〔岩松松晴大堀工佐工川三柏〕

GK FP〔審・山〕
〔濱・野下〕

〔王〕西野実尾谷井山瀨口永川木
〔埼〕大梅時松塩石冲徳江須前鈴
得0032076110000

山 梨37〔2116〕4 6富

○：立ち上がりPTで得点した山梨は、ロングシュート、ポストプレー、連攻とバランスのとれた攻撃で着実に得点を重ねた。一方富山は前半5分にPTで得点したが、得点チャンスは山梨GKの好守に阻まれ、良い攻撃をしながら残念な結果に終わってしまった。

〔齊藤〕
得0001000120020
〔山〕山谷中 戸山村橋内治井
〔高〕北樽田 丹飯中中道谷鍛中

GK FP〔審・稲生〕
〔内記〕

〔梨〕山野辺崎道沢山林瀬島田
〔山〕丸星渡嶋海松春小百成武平
得004645431334

茨 城20〔119〕8 15大

○：両チーム共特色を生かしミスも少なく接戦の前半であったが、後半に入り茨城は武藤を中心にセフトプレーを重ねた。これに対し大阪もサイドのシュートなどで対

抗したが、相手のミスを巧く得点につなげた茨城が勝利をものにした。(市瀬)

得0012262000110
〔阪〕浜口田西瀬木田谷池川村本
〔大〕高坂丸上赤佐植天小袋上藤

GK FP〔審・菅野〕
〔半田〕

〔城〕辺口藤田川條松本田藤井岡
〔茨〕小武長枝下平根太工松永
得004600404002000

栃 木35〔1619〕3 8滋

○：栃木がロング、ミドル、速攻、サイドシュートなど多彩な攻撃と堅実な守りで一方的に滋賀を下した。(佐野)

〔賀〕西川井本名河崎谷己宮田西
〔滋〕小北今藤貫西松西辰松島中

GK FP〔審・小池〕
〔藤田〕

〔木〕生本打田水沢田岸原村苗毛
〔栃〕葛岡手前清井吉山菅中尾石
得000753714430023

愛 知17〔116〕8 14熊

○：立ち上がりから12分間2-2の同点。互いに得点源を見出せず、苦しい戦い。前半8-6と熊本のリードで折り返した。後半、熊本の逃げ切りかと思つたが、20分過ぎ熊本の出場者が相つき、愛

知が逆転して勝利を得た。(浜野)

得002220061010
〔本〕木本口藤口村家嶋内田津山
〔熊〕荒岡山近江岩福野山横武中

GK FP〔審・千塚野〕
〔塚野〕

〔愛〕添藤木池永村上田田尾倉保
〔知〕畑大荒小末中道太久松坂大
得00350300130002

三 重32〔1418〕7 13 20京

○：三重は鷲野のサイド、ポストシュートなどで得点するが、京都も藤田のロングシュートなどで対抗、22分まで10-10の同点。その後動きの悪くなった京都に対し三重は速攻で6連続得点し、前半は18-13。後半は疲れの見える京都に対し三重が速攻を連発し、一方的に押し切った。(内記)

〔都〕井本田野田戸田田辺坂尾橋
〔京〕山秋矢多山花藤渡谷中小

GK FP〔審・齊藤〕
〔沢藤〕

〔重〕村田沢裕藤野部石岡真西田
〔三〕木小寺石近鷲服常高石寺池
得0054784040000

山 梨18〔135〕9 17埼

○：地元山梨のディフェンスでの動きにもう一つ詰めがなく、埼玉のロングをつづけて許し、前半9-5。後半に入るや、固さのと

れた山梨はポストプレーを多用して追い上げ、1点を争う好ゲームを展開した。試合を最後まで盛り上げるプレーを随所に見せ山梨の勝利で終わった。(手塚)

得0001194111000
〔王〕西野実尾谷井山瀨口永川木
〔埼〕大梅時松塩石冲徳江須前鈴

GK FP〔審・山〕
〔濱・野下〕

〔山〕山野辺崎道沢山林瀬島田
〔梨〕丸星渡嶋海松春小百成武平
得0001724020011

茨 城25〔1312〕10 21栃

○：立ち上がり茨城が長田の活躍でリードを奪つたが、栃木も15分過ぎから速攻を重ね追い上げ、前半12-11。後半も茨城、栃木共にスピーディーな攻撃を展開、一進一退をくり返したが、20分過ぎからミスの目立つ栃木に対し茨城がサイド、速攻でリードを広げ、25-21で茨城が勝ち上がった。(宮沢)

〔木〕生本打田水沢田岸原村苗毛
〔栃〕葛岡手前清井吉山菅中尾石
得0008061440020

GK FP〔審・稲生〕
〔内記〕

〔城〕辺口藤田川條松本田藤井岡
〔茨〕小武長枝下平根太工松永
得005771422004000

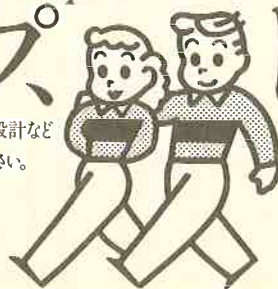
山 梨18〔135〕9 17埼

○：地元山梨のディフェンスでの動きにもう一つ詰めがなく、埼玉のロングをつづけて許し、前半9-5。後半に入るや、固さのと

make-up tomorrow

メイク・アップ、トウモロウ。

財産の運用、ローンのご利用、不動産や年金、相続・贈与の設計など
お客さまとともに明日を創造するBANK、〈ダイワ〉をご活用ください。



あなたと明日を

大和銀行

▼準決勝

三 重 22 [111 | 136] 19 愛 知

○：前半、三重の速攻とフォワード
メーションプレーが決まりリード
する。後半、愛知に攻撃ミスがあ
り相手速攻を招いたが、15分過ぎ
から反撃し3点差までするが、そ
の後は三重に押し切られた。(菅
野)

得003701143000
知 添敷木池永村上田田尾倉保
愛 烟大荒小末中道太久松坂大

G K F P (審・水越) 上小沢

重 村田沢裕藤野部石岡真西田
三 深田 真田
得00535230000004
茨 渡小武長枝下平根太工松永

茨 城 24 [28 | 11] 22 山 梨
3 | 3 10 | 9

○：全日本プレーヤーを軸に
カットイン、ロングを随所に見せ
る茨城に対し、山梨もGKの好守
や走力とパスワークで加点、後半
得0004102103011
梨 山野辺崎道沢山林瀬島田田
山 丸星渡嶋海松春小百成武平

G K F P (審・北井) 上久保

城 辺口藤田川條松本田藤井岡
得0086230500000
茨 渡小武長枝下平根太工松永

15分には逆転する健闘を見せた。
その後、山梨のポストプレーが冴
え、茨城もカットインで譲らず、
19 | 19で延長に。延長開始2分、
退場者を出した山梨を激しく攻め
た茨城が、2点差で勝利を飾った
(千野)

▼3位決定戦
愛 知 26 [179 | 112] 21 山 梨

○：地元の声援を受けた山梨は
出足良く4点連取すれば、愛知も
粘り4点連取、1点を争う攻防。
山梨は細かなパスプレーからポ
スト、サイドで加点、12 | 9で折
返した。後半に入り、愛知の早い

得0013653000021
梨 山野辺崎道沢山林瀬島田田
山 丸星渡嶋海松春小百成武平

G K F P (審・北井) 上久保

知 添敷木池永村上田田尾倉保
愛 烟大荒小末中道太久松坂大

少年男子
福岡 (久留米工大附高) が優勝

▼1回戦
大 阪 21 [12 | 5] 14 愛 媛
(選抜) [9 | 9] (選抜)

○：大阪は、落ち着いたパスさ
ばきから高いロングシュートや
対1からのポストプレーなど多彩
な攻撃を見せ、リードを奪う。一

走りとクロスプレーにより11分同
点に。以後走りに勝る愛知が連続
加点、山梨の必死の追い上げもミ
スで自滅した。(千野)

▼決勝
三 重 27 [19 | 139] 22 茨 城

○：ディフェンスの縦横のフッ
トワークの良い三重を攻めあぐむ
茨城、前半19 | 9と大差で折り返
した。後半、両チームミスをつい
ての速攻で得点、試合を盛り上げ
た。茨城は追い上げの大切な時に
退場者を出したのが痛手となった
(手塚)

得00210120421000
城 辺口藤田川條松本田藤井岡
茨 渡小武長枝下平根太工松永

G K F P (審・水越) 上小沢

重 村田沢裕藤野部石岡真西田
三 深田 真田
得00947220000003
茨 渡小武長枝下平根太工松永

方愛媛は、コンビネーションが今
一步で、大阪の高いディフェンス
とGKの好守を破れず、前半12 |
5と大阪が大きくリードを奪った。
後半に入っても様相は変わらず、
大阪の快勝に終わった。(北井)

得00331000043000
媛 岡村川田崎内田地花野藤田
愛 大川石崎河西横加立日工和

G K F P (審・平井) 野井

愛 知 38 [62 | 1410] 30 富 山
(選抜) [6 | 2] [0 | 3] [1 | 1113]

○：相手のミスに乗じて富山が
好スタートを切り、愛知もディ
フェンスを立て直し徐々に追いつ
たが、後半に入り15分、愛知が同
点に追いつき延長戦に。
第1延長は一進一退で決勝がつ
かず、第2延長で愛知に勝利の女
神がほえんだ。(酒井)

得0055060000923
山 橋浦瀬沢平角井崎山戸辺崎
富 布三広杉土大藤山椎背磯岩

G K F P (審・北井) 上久保

知 野瀬田下藤羽田藤月藤瀬松
愛 沖成山山加丹小安望伊岩平
得00787600060004
山 口 [12 | 15] 10 青 森
(選抜) [1 | 5] (全青森)

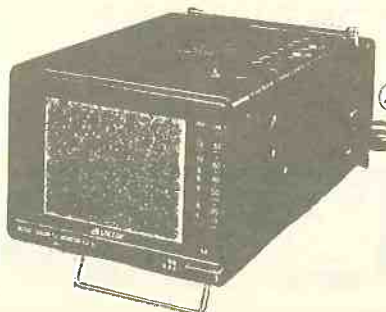
○：両チーム共に細かいプレー
が続ぎ、小さな反則のくり返して

Victor
今日のヒーローは
背番号6。

ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」
も、ファッションブルでスポーティで、感度
バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナー。

6inch Magazine
6型コンパクトカラーテレビ
CX-60
標準価格79,800円(A/C電源付)

ハンドボールニころを満たす



一退のゲームが続いたが、しかし、ポスト、ミドル、速攻シュートなどが決まり、前半14-6と山梨が引き離した。後半も前半と同じゲーム展開で、地元の利を生かした山梨が着実に得点し、31-16で千葉を下した。(佐野)

福 岡23 (1310-12) 17 沖 縄
○：前半、福岡は沖縄のディフェンス及びGKの好守に苦しんだが、後半は早い動きにより沖縄のディフェンスミス誘い、着実に得点をした。また、沖縄は一人一人の動きが、バラバラとなり、得点を重ねるのに苦しんだ。(平井)

の合って来た北海道は、一時4-6と詰め寄ったが、シュートミスの逆速攻で11-6と福島リードで折り返した。後半に入り、一進一退の攻防となったが、結局前半のリードのまま終了した。(浜田)

に先行したが、大阪も相手のミスやパスカットから速攻でよく追いついてゆき、10-7で前半を終る。後半に入ると石川が速攻、ロングサイドとスパートし差がついたが内容的には好ゲームだった。(市瀬)

得0072011023000
業田貫池川 坂間山島入沢下
千町島小宮 有本横福坂永宮
G K F P (審・横瀬) PT (1) 16

得003010038110
縄良謝地井沢城田浜原念島根
沖我下嶺伊金長吉上知高仲宗
G K F P (審・市瀬) PT (1) 17

得0002227210120
道田治尾本野幡田沢本橋田田
海保久笹鷺山吉白高大腰高米富
北久笹鷺山吉白高大腰高米富
G K F P (審・北久保) PT (2) 17

得00130000100440
阪田本原島下垣山山田本井下
大竹松篠鹿穂瀬金赤武橋永木
G K F P (審・北久保) PT (1) 13

得002671202632
梨田土柳野瀬橋松林賀木保林
山鶴白青細広中窪小浅青小竹
久
▼決勝 31 (1) PT

得0003351337010
岡山崎田中吉山元田崎藤原尾
福福篠柴田弥中杉久川近孤高
保
G K F P (審・代永) PT (4) 23

得00111202300067
福濱早吉小大宗曾梅須古佐柳
島尾見田林内形部津田川藤内
河
G K F P (審・上久保) PT (2) 22

得00088227100003
石木岩千松 上桜奥池西堀谷
川戸井秋田 田井村田田川本
林
G K F P (審・北久保) PT (2) 23

少年女子

石川(小松市女高)が優勝

が優勝

大 阪 19 (12-16) 15 三 重
(選抜) (7-9) (選抜)

たが、三重も速攻、PTなどで2点差としたが、大阪もGKを中心によく守り、着々と得点をあげ前半を12-6で終了した。後半に入り三重は守備の形をかえてから守り、攻撃のリズムをつかみ、19分には4点差としたが、ミスが多

が目立ち広島が着実に得点する。その後茨城も立ち直って反撃、両チーム共に一進一退の攻防となる。しかし、後半終了近く広島が突き放した。(平井)

な攻めに対し、香川は個人プレーで応戦し近差で終了。後半、香川はGK好守によりチャンスをつくるが、連続得点することができず苦しんだ。一方東京は、両45度のシュートを大事な時に決め、香川を押し切った。(菅野)

得0030450102000
重橋岡橋川峰田野崎田宅羽根
三 大 片 高 古 水 中 矢 出 内 三 戸 中
G K F P (審・千塚) PT (1) 15

く敗れた。(水越)

得00301101000020
島林藤中本本井田本山村久野
廣小齊田橋山川稲坂森茶長吉
得00301101000020
▼準々決勝

得0015122300010
川田川村本崎藤根 山中浦澤
香鎌松木桃福高赤 中田松藤
橋
G K F P (審・市瀬) PT (4) 15

得0015301000630
阪田本原島下垣山山田本井下
大竹松篠鹿穂瀬金赤武橋永木
得0015301000630
石川はポストプレーを中心に

○：前半立ち上がり、北海道はお互いの動きが合わずミスが目立った。一方福島は、サイド、ミドルで得点を重ねた。少しずつ動き

得0024406501040
京口石野地形鹿出浦野田田戸
東坂明竹菊吉田井三星松森能
得0024406501040

得0024406501040
京口石野地形鹿出浦野田田戸
東坂明竹菊吉田井三星松森能
得0024406501040

服飾文化の発展とともに

三景グループは、企業の使命感と創造の精神を礎に、
不断の歩みを続けています。

株式会社 三景



代表取締役社長 北野喜美夫
本社 〒101 東京都千代田区岩本町3-4-12 TEL. (03)861-7151

molten®



MTH3 特選皮革
●天然皮革●特選皮革●特選皮革



瞬間、
信頼の手がかり!

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する

モルテンハンドボール

独特のリップ形状とパネル間段差の“32面体ノンスリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟 (I.H.F.) 公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会検定球 (J.H.A.) ●国際ハンドボール連盟公認球 (I.H.F.)



株式会社 五洲製球
東京本社 東京都墨田区横川 5-5-7 ●130 ●(03)525-7581
東京・大阪・広島・名古屋・福岡・札幌・日サレビル・ジュビロ・ドルフ

800m²の青春

ねばり強いディフェンス、そして鋭いシュート。800m²のコートにとび散る汗。ハンドボールは、頭脳と技の闘いだ。空間に舞う身体、全身がひとつになりVへのゴールにボールが躍る。ミカサのハンドボールは、優れた弾力性と強度、そして手に吸いつくような感触で全世界のプレーヤーから絶賛を浴びています。勝利を目指す人の、ミカサのハンドボール。



新製品

小学生用軽量ハンドボール



重量265g
検定球
¥3,300



MGH3

★
MIKASA®

本社/〒733 広島市西区楠木町3丁目1-2 森(082)237-5145 地
営業所/東京・大阪・名古屋・広島・福岡

MIZUNO

THE WORLD OF SPORTS

GO
SINCE 1908
ボクら、万有引力たむじれる



ヘリホーン意匠

サイドモーション サポートリブ

ピボットリング

フレキシブルゾーン

コンケーブ意匠

パワー効率重視。コートのマシン〈ランバード〉

室内コート専用のマルチファンクションソール。

前後左右、あらゆる方向へのトラクション性にすぐれたヘリホーン意匠をベースに、かかとには着地時の衝撃を吸収、分散するコンケーブ意匠を配置。また、ソール前半にはパワーロスを防ぐサイドモーションサポートリブ、回転運動の軸となるピボットリングをはじめ、屈曲性を高めるフレキシブルゾーンなどをレイアウト。多様なプレーに対応するソールパターンが生まれました。

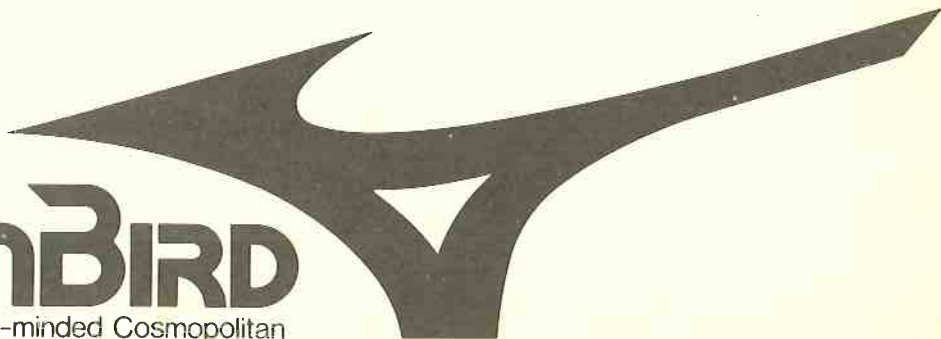
〈ランバード〉ハンドボールシューズ

《ウイングショット》 ¥12,000

- 甲/牛革 ●補強材/人工皮革 ●底/ラバー・ハーフシェルソール
- カラー/16KH-1527 ホワイト・レッドにメタリックネイビーライン
- /16KH-1562 ホワイトにレッドライン

RunBIRD

for The Sports-minded Cosmopolitan



倉吉工	25	10	境港工	境	20	18	倉吉工	米子北	19	5	倉吉産	▼1回戦	米子北・境	16	9	7	米子西
倉吉工	17	11	米子北	境	16	15	米子西	境	7	4	米子北	米子北・境	米子北・境	16	9	7	米子西
倉吉工	36	19	米子西	境	13	9	米子南	境	23	7	倉吉産	米子東	米子東	16	9	7	米子西
倉吉工	17	14	倉吉工	境	11	6	米子西	境	14	6	米子西	米子東	米子東	6	3	米子西	米子西
倉吉工	17	15	倉吉工	境	11	6	米子西	境	22	6	米子東	米子東	米子東	6	3	米子西	米子西
倉吉工	36	19	米子西	境	11	5	米子北	境	27	8	米子東	米子東	米子東	6	3	米子西	米子西
倉吉工	17	11	米子北	境	5	7	米子北	境	14	6	米子西	米子東	米子東	6	3	米子西	米子西
倉吉工	25	10	境港工	境	5	7	米子北	境	22	6	米子東	米子東	米子東	6	3	米子西	米子西

※米子高専は次の試合を棄権、境港工が進出した。

▼同3回戦
境 20-18 倉吉工

米子北 19-5 倉吉産
境 7-4 米子北
境 23-7 倉吉産

▼1回戦
米子北・境 16-9 米子西
米子東 16-7 倉吉工

▼決勝トーナメント1回戦
境 16-15 米子西

「順位」①境②米子北③倉吉産

▼決勝
米子北 10-4 米子東
境 6-2 米子東

▼3位決定戦
米子南 11-6 米子西

○Bブロック
米子南 27-8 米子東
米子南 14-6 米子西

▼1回戦
米子南・倉産 6-3 米子西

▼敗者復活1回戦
倉吉工 17-11 米子北

○Aブロック
境 16-11 米子北

▼決勝
米子北 8-2 米子産

▼女子選リーグ
境 16-11 米子北

1年生大会
境 8-2 米子産

▼男子
境 8-2 米子産

みなさんのアイデアで 親しまれるハンドボールに

日本ハンドボール協会の 〈協会章〉と〈マスケットマーク〉 を募集します

財団法人日本ハンドボール協会は、昭和62年2月に創立50周年目を迎えます。今、この50周年に向けて「日本ハンドボール史」の作成など、これまでの日本ハンドボール界の歩みをまとめる作業を進めております。

また、それと共に、今後より一層みなさんに愛され、親しまれるハンドボール競技を目指し、日本ハンドボール協会の〈協会章〉

（これは協会の公式のマークとなるもの）と〈マスケットマーク〉（これはいわゆる愛称的なマークでより一層親しみやすさをイメージしたもの）を募集することにしました。

全国のハンドボール愛好者の方々のアイデアから素晴らしいマークがデザインされることを期待しております。

応募要領は以下の通りです。

○応募資格 どなたでも結構です。必ず応募作品に住所、氏名、年齢、所属（会社、学校名など）を明記して下さい。作品は何点応募して下さいでも結構です。

○締切 昭和62年1月末日必着

○宛先 〒150東京都渋谷区神南一―一 岸記念体育館内

○謝礼 日本ハンドボール協会理事會にて審査させていただきます。採用の際には、各10万円を謝礼として支払わせていただきます。

尚、その際は、マークの使用権は日本ハンドボール協会に属するものとさせていただきます。

くらし、ひろげるジャスコのカード

会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。
ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。

お支払いもいろいろ
●月々のお支払いがラクな
リボルビング払い
●手数料なしのおトクな
一回払い
●お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。

JUSCO CARD
1234-56789-1231
7108*JR

ジャスコ



高度なスカイブレーが変幻自在。

スカイハンド[®]スペシャル (THT705)

●カラー ホワイト×レッド×ホワイト・ロイヤルブルー×ホワイト

●サイズ 22.5～28.0cm

●アッパー ステア表革(ホワイト×レッド)

牛革ベロア(レッド×ホワイト、ロイヤルブルー×ホワイト)

標準小売価格 ¥13,000



ストップ&ジャンプ性能を徹底追求したニューズ・スマイル・ド・メンタル。つま先からかかとまで衝撃吸収性に富む超軽量スポンジE.V.A.を内蔵した。アクロバティックな動き、ソフトな着地感、ストップ性を獲得するための圧倒的迫力で、ゴールを襲うハンドボールに捧げます。

驚!



スポーツが好き。汗が好き。

笑顔があります。涙があります。
躍動があります。記録への挑戦があります。
チームプレイの和があります。
からだを動かしていると
人生の大切なものがたくさん見えてきます。
新日鉄は、スポーツを通し
心身を鍛える皆様に声援をおくります。

 **新日本製鐵**



(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第二五七号

昭和四十年六月
第三種郵便物認可

昭和六十一年十月二十五日 印刷
昭和六十一年十一月一日 発行

東京都
電話(代) 振替 東京
一三六一
二三八六
六八三六
一五八三
一四八番
編集兼
発行人

大野金一

定価三百五十拾円
(年間購読料
三千三百円)